



令和3年分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和3年分について、輸出額は「石油製品」などが減少したものの、「通信機」、「有機化合物」などが増加したことから、対前年比 18.2%の増加となった。また、輸入額は「非鉄金属鉱」などが減少したものの、「原油及び粗油」、「石油製品」、「液化天然ガス」などが大幅に増加したことから、同 41.1%の増加となった。
その結果、差引額は6,594億円（同 88.4%の増加）となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	8,575億円	+18.2%	1兆5,170億円	+41.1%	▲6,594億円	+88.4%
	3年ぶりの増加		3年ぶりの増加			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 通信機	308億円	+529.1%	輸入	増加品目	(1) 原油及び粗油	7,619億円	+50.3%
		(2) 有機化合物	709億円	+54.4%			(2) 石油製品	989億円	+103.4%
		(3) プラスチック	755億円	+36.6%			(3) 液化天然ガス	2,556億円	+20.5%
	減少品目	(1) 石油製品	507億円	▲12.1%		減少品目	(1) 非鉄金属鉱	99億円	▲28.9%
		(2) 荷役機械	29億円	▲47.9%			(2) 重電機器	53億円	▲35.6%
		(3) 半導体等電子部品	25億円	▲42.5%			(3) コック・弁類	17億円	▲56.8%
地域別動向	アジア、北米が増加、大洋州は減少			地域別動向	中東、アジアが増加、アフリカは減少				

（参考）ドルレートは、109.41円（前年比2.3%、2.43円の円安）であった。

（注）年間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。